

じんけん探訪28

人権擁護条例

住みよいまちづくりの約束
三豊市では人権擁護条例を定めています。しかし市民の半数(48%)がこの条例を「まったく知らない」と市民意識調査(2012年)で回答しています。

条例の目的は平和な明るい地域社会を実現することで、市民は差別をなくし人権擁護に努めることになっていま...
お、ここでいう差別とは部落差別、身体障がい者差別、女性差別などをいいます。条例は誰もが住みよいまちづくりという市民全体の約束として自覚しあい、すべての家庭や学校、事業所などで条例を活かし、お互いに暮らしやすい三豊市を作りたいものです。

人権課 ☎73・3008

文化財を訪ねて 37

汐木港跡



▲汐木港があったことを示す石碑

江戸時代は航路の開発や運河の整備などが行われ、海上交通が盛んな時代でした。かつて、三野町にも大きな港があり、江戸時代から昭和初期にかけて用いられてきました。それが今紹介する汐木港跡です。昭和61年9月に三野町指定史跡になり、現在は市指定史跡になっています。

汐木港は、三野町吉津に位置し、現在の汐木水門のあたりに築かれていたといわれています。その岸壁には、高さ6mもある高灯籠(灯台としての役割を果たしていた)や米蔵、御番所(交通の要所に置かれており、検査や徴税を行



▲高灯籠

問い合わせ 生涯学習課 ☎62・1113

目指せ 男女共同参画社会

No.29

問い合わせ 企画財政課 ☎73・3010



各種審議会に占める 女性委員の比率

平成11年に男女共同参画社会基本法が制定され、国や県において男女平等の実現に向けたさまざまな取り組みが進められています。

三豊市でも、平成20年3月に策定した三豊市男女共同参画プランの中の重点目標に「政策・方針決定過程への女性参画の拡大」を掲げ、取り組んでいるところです。今年度の状況は下の表のとおりです。

市民の皆さんへ

- 女性も、各種委員の公募には積極的に応募しましょう。
女性も各会合において、自分の意見を積極的に発言しましょう。

政策・方針決定への女性の参画の推移

Table with 4 columns: Year, Female Ratio, Total Committee Members, and Number of Female Committee Members. Data for Heisei 20-24.

(各年4月1日現在：地方自治法第202条の3に基づく審議会等)

下記のサイトで全国の様々な企業が実際に取り組んでいる事例が紹介されています。

ポジティブ・アクション応援サイト

検索

セミナー開催

男女が共に対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野に参画し、一人ひとりの個性や能力を発揮できる社会の実現を目指し、啓発の一環としてセミナーを開催します。

参加料は無料で、どなたでも参加できます。直接会場にお越しください。

日時 3月5日(火) 午後1時30分~3時
場所 市民交流センター
演題 「自分を輝かせよう」
講師 蓮井 孝夫 氏



プロフィール
現在、香川国際ボランティアセンター代表理事・香川県人権擁護委員連合会事務局長。1941年香川県高松市生まれ。元西日本放送のアナウンサー。2012年には、「瑞宝双光章」を受賞。

みとよ暮らし みとよ時間



▲「薪割りのお手伝いは楽しい!」と沙奈ちゃん

県外から移住し、平成24年8月に家を建て本市に住み始めた重松瞬さん(27)・千春さん(27)・沙奈ちゃん(4)・芽依ちゃん(1)ご家族にインタビューをしました。
「以前から自然が豊かで、広さも時間の流れ方もゆったりとしたところに住みたいと思っていました。実際三豊はそのとおりで住みやすいです。夫婦ともに愛媛の出身で、まったく知らないところに引っ越してきましたが、近所の人もおどろきなどをお裾分けしてくれたり、外でいたら話しかけてくれたりと優しくしてくれました。新鮮な食べ物も豊富で、この間も実家の家族が来たときに三豊で獲れた魚介やお肉を料理に出したら『美味しい』と好評でした。」

引っ越すときに周りの人から「三豊はどこへ行くにも遠い」と聞いていましたが、車があるので不便さはまったく感じません。家を建てる際に「40歳未満の新規住宅取得の補助金」を工務店の人が教えてくれ利用しました。家には、薪ストーブやいろいろを取り入れ、そこで料理もして、ごはんを食べる楽しみというのも増えましたし、なにより居心地のよさにみんな家でいる時間が増えました。子どもは三豊で育つ子になるので、老後もここでいて、娘たちの帰って来られる場所になりたいと思います」

定住に関する問い合わせは、田園都市推進課 ☎73・3011

